

学校通信
ひがしやま 第30号

発行日 令和7年9月1日(月)
 発行者 別府市立東山幼稚園
 別府市立東山小学校
 別府市立東山中学校
 校(園)長 谷川 芳明

○第1回学力向上会議及び第2回学校運営協議会の開催について

・8月22日(金)本校家庭科室で開催しました。

学力向上会議では、「大切なことは、この子どもがどう伸びていくかを年ごとに個別に追っていくことが大切」「1月に本を1冊も読まない子どもがいない。図書館が効果的に活用されている」「放課後学習サポートでは、保護者が子どもの様子を受け止めてくれている」

学校運営協議会では、「対話をベースに自分たちの生活をよりよくする活動が大切。東山っ子会議は、よい取組」等、ご意見、ご感想をいただきました。

[illegible]

○東山幼小中学校・地区合同運動会第2回実行委員会の開催について

・8月28日(木)本校家庭科室で開催しました。9月27日(土)8時30分からの開催に向けて、地域代表、PTA役員代表、教職員代表でプログラム等の詳細について協議しました。

前回8月5日(火)の第1回実行委員会において、多くの地区の皆さまから、例年にない暑さを考慮した競技の見直しや時間短縮に向けたご意見、ご提案をいただきました。

そこで、短縮案を作成し、8月26日(火)にPTA役員、地区公民館主事の田中さんを交えてご意見をいただき、8月29日(金)にPTA役員会にて、詳細についての協議をしました。そこでは、スムーズな進行を念頭に、テントの配置や撮影場所の設定なども勘案しています。児童生徒の体調等考慮し、変更を伴いますが、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、地区合同運動会終了後、地域の皆さまや保護者のみなさまへ、アンケートにて、ご意見等を集約いたしますので、ご協力願います。

[illegible]

○児童生徒アンケートについて（追加）

・8月28日付け第29号でご紹介しましたアンケート結果につきまして、お示した肯定的評価は、回答項目の「いつもそうだ」のみの数値でした。「だいたいそうだ」の回答を肯定的評価に加えた数値で、あらためてお知らせします。

例えば小学校の①学校には、自分の考えや気持ちを分かってくれる仲間がいる。82%→95%。同様に②授業では、挑戦と失敗を繰り返しながら、問いや課題の解決に取り組んでいる。62%→79%。③授業で学ぶことによって、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている。59%→85%。また中学校は①授業では、自分が必要な時に、仲間と協力しながら学んでいる。55%→75%。②授業では、他の人の考えや意見を学びに生かしている。50%→85%。③学校が楽しい。50%→70%。と、より高い評価となります。

子どもたちの捉えが「だいたいそうだ」から「いつもそうだ」に、そして「ときどきそうだ」から「だいたいそうだ」あるいは「いつもそうだ」に、肯定的な評価が向上していくことを大切に考えています。